

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成27年3月1日発行 季刊

発行責任者：斑鳩町議会議員 ばん よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

特別号-2

こんにちは、ばんよしはるです。3月に入りまだ寒い日がありますが、日差しが徐々に春が近づいていることを教えてくれているようになってきました。もうすぐ訪れる、三室山の桜が楽しみです。

まず始めに昨年、12月議会で斑鳩町の今後の人口問題について質問させていただいたことを書かせていただきます。

本町の推計人口は平成22年には、2万1,621人と昨年日本創成会議から発表されました。平成22年の2万7735人から約6000人減少するとの分析結果になっています。

人口減少問題は、子育て支援だけでなく、産業や雇用賃金の減少など、総合的なあらゆる取り組みが不可欠になることは間違いありません。

しかし、この問題は斑鳩町だけでは解決することがなかなか難しいものです。

それでも目指していかなければならないことは、皆で「住みやすく、そして訪れやすいまち」にしていくことだと思います。

さて、議会に送っていただいてからこの4月で8年になります。

その間、役場から感じたことは過去になんとなく、上手くいっていた場合には、それが時代にそぐわないと気づいても、なかなか変えられないものだということです。

大きな時代の変化を感じ取って、時代に合わなくなってしまったことは勇気をもって変えていかなければ時代に取り残されてしまいます。

地方への分権が進み、自治体間の競争が激しくなっていく時代になると、早い段階で変化に対応できた自治体とそうでない自治体とでは住民の暮らしの中にさえも格差が生まれてしまうことになりかねません。

たとえ一時的には痛みを伴うこととなっても、勇気を持って新しい時代にふさわしい形に行政の仕組みを変えていくことが大切です。

「いま」しかできないこと。

「いま」しなければいけないこと。

「いま」しか言えないこと。

将来のために「いま」を大切にしたい。

このようなことを、大好きな斑鳩町のこれからについて考えてしまいます。

斑鳩町に住んでいることに誇りがもてるまちにするためにも、今日より、少しでも明日が良くなる「まち」にするために！
まちの未来は、住民一人ひとりの想いで変えられるはずです。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。